

時間割コード	G2B60148	開講年度	2026				
授業題目	自然災害と環境				担当教員	堤 大三	
英文授業名	Natural disasters and environment					上村 佳奈・未定 拓時・上原 三知	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育 1 2 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学 D P 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				地震・津波、気象災害といった自然災害についての基本的知識を身につけ、建築物の耐震性や災害からの復興、人間が暮らす環境と災害との関係について理解できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	日本は、4つのプレートがせめぎ合う境界に位置しており、地震や津波、火山噴火が発生する頻度が高く、さらには地質条件や気象条件によって、土砂災害や洪水災害の危険度も高い国である。今般の地球温暖化によって、気象災害の激甚化も懸念されている。これらの自然災害の発生形態、素因・誘因といった基礎を学習した上で、建築物の耐震性や災害後の復興、人間の暮らす環境と災害との関連について学習する。						
(5)授業のキーワード	自然災害、防災、環境						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス、自然災害の基礎（堤） 第2回 地震・津波災害（堤） 第3回 火山災害（堤） 第4回 土砂災害（堤） 第5回 地球温暖化（上村） 第6回 激甚気象（上村） 第7回 森林破壊（上村） 第8回 前半講義についての議論・試験（上村） 第9回 災害と木造建築の変遷（未定） 第10回 木造建築の構造性能（未定） 第11回 木造建築と環境（未定） 第12回 近代造園学(ランドスケープ)と災害（上原） 第13回 東日本大震災とランドスケープデザイン（上原） 第14回 エコロジカルデザインと複合災害（上原） 第15回 後半講義についての議論・試験（上原）						
(7)成績評価の方法	2回実施する試験の結果をもって評価する。						
(8)成績評価の基準	講義内容の90以上を理解している……秀 講義内容の80-89を理解している……優 講義内容の70-79を理解している……良 講義内容の60-69を理解している……良 講義内容の59以下を理解している……不可						
(9)事前事後学習の内容	事前学習を推奨するものであるが、特に事後学習について、各時間の講義内容を積極的に復習するものとする。						
(10)履修上の注意	授業に出席するだけでなく、予習復習などの授業時間外学修を行うこと						
(11)質問,相談への対応	堤（農学部）へのメールによる対応可(t_daizo@shinshu-u.ac.jp)。 あるいは講義終了後、直接教員に質問、相談可。						
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	特に指定しない。						